

令和8年度第6回臨床腫瘍セミナー

身体活動量と運動療法に着目した 運動腫瘍学的治療戦略

がんサバイバーに対する運動療法は、これまで主に身体機能やQuality of Life (QOL) の維持・改善を目的とした支持療法として位置づけられてきた。一方、近年では、身体活動量・運動療法と予後との関連や、運動が免疫機能、炎症、腫瘍微小環境などにおよぼす影響が報告され、運動の抗腫瘍効果にも注目が集まっている。本セミナーでは、がんサバイバーにおける身体活動量の意義と運動療法のエビデンスを概説し、支持療法にとどまらない運動の治療的可能性について情報共有する。さらに、がんサバイバーの治療状況や身体機能に応じた実臨床での実践についても紹介する。

関西医科大学 リハビリテーション学部
理学療法学科 助教

講師 **福島 卓矢 先生**
(ふくしま たくや)



〔職歴〕

2010年 下関市立市民病院リハビリテーション科
2016年 長崎大学病院リハビリテーション部
2019年 国立がん研究センター中央病院骨軟部腫瘍・リハビリテーション科
2022年 関西医科大学リハビリテーション学部 理学療法学科

〔学歴〕

2010年 長崎大学医学部保健学科理学療法学専攻 卒業
2015年 慶應義塾大学大学院医学研究科修士課程 修了
2019年 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科博士課程医療科学専攻 修了

〔主な受賞歴〕

第1回日本理学療法学会連合学術総会 奨励賞
第79回日本食道学会学術集会 最優秀メディカルスタッフ賞
第6回日本がん・リンパ浮腫理学療法学会学術大会 最優秀演題賞
第4回日本がん・リンパ浮腫理学療法研究会学術大会 優秀演題賞

日時：令和8年12月16日(水)18時～19時

場所：福島県立医科大学11号館第2臨床講義室

司会：佐藤菜保子先生（成人・老年看護学部門
がん看護領域）

対面/WEB ハイブリッド開催

WEB参加を希望される方は、下記アドレスまたは右の二次元コードからご登録ください。

<https://zoom.us/join/zoom/register/-8lhZrlUQRqo0MZxJV2RHg>



◆がん治療に携わる医師、メディカルスタッフ、患者様及び一般の皆様を対象に公開セミナーとして開催されます。

◆本セミナーは、『東北広域次世代がんプロ養成プラン』事業の一環となっています。

◆本セミナーは、大学院授業要項に基づく「共通必修科目（8）」に該当します。大学院生は履修票をご持参下さい。

【お問い合わせ】 福島県立医科大学 教育研修支援課 TEL：024-547-1095 E-mail：ganpro@fmu.ac.jp

【次回予定】 令和9年3月9日（火）18時15分～19時15分 福島県立医科大学11号館第2臨床講義室
（講師） 福島県立医科大学 循環器内科学講座 准教授 及川雅啓先生